



# 平成 27 年度 泉大津市予算

## 一般会計は前年度比 2.0% 増の 278 億 9,261 万円

### 【平成 27 年度予算の内容】

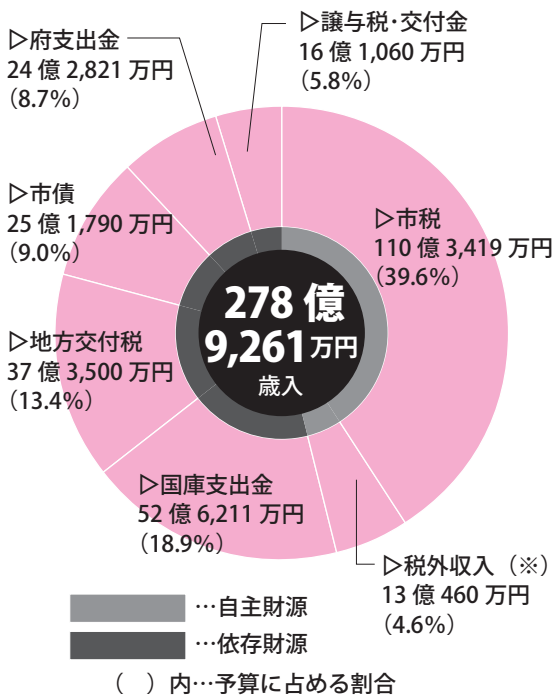
一般会計をはじめとする平成 27 年度当初予算が 3 月議会で可決されましたので、その概要をお知らせします。

一般会計、特別会計、企業会計の全会計における総額は、前年度比 1.4% 減の 585 億 2,159 万円、うち、一般会計は前年度比 2.0% 増の 278 億 9,261 万円となっています。

一般会計において、前年度比 5 億 4,199 万円の増となっているのは、南海本線連続立体交差事業や旭小学校増改築事業などの投資的経費や、退職手当をはじめとする人件費の増が主な要因です。

### ■ 平成 27 年度 当初予算 ※表示単位未満を四捨五入している関係で、計が一致しないことがあります

会計名	平成 27 年度 (A)	平成 26 年度 (B)	増減額 (A - B)	増減率
一般会計	278 億 9,261 万円	273 億 5,062 万円	5 億 4,199 万円	2.0%
特別会計	212 億 7,239 万円	207 億 8,955 万円	4 億 8,284 万円	2.3%
企業会計	93 億 5,659 万円	112 億 722 万円	▲18 億 5,063 万円	▲16.5%
計	<b>585 億 2,159 万円</b>	593 億 4,739 万円	▲8 億 2,580 万円	▲1.4%



### ■ 歳入の概要

歳入は、市税や使用料・手数料など地方自治体の権限で収入できる財源「自主財源」と、地方交付税や国府支出金など国や府の意思決定に基づき交付される財源「依存財源」に分けることができます。

#### 【自主財源】

自主財源は、前年度と比較して 2.5% 減の 123 億 3,878 万円 (3 億 1,665 万円の減)、歳入全体の 44.2% と見込みました。このうち、自主財源の柱である市税は、法人市民税の減収を見込み、1.4% 減の 110 億 3,419 万円としました。

また、税外収入については、前年度と比較して 11.2% 減の 13 億 460 万円としました。このうち、市民の皆さまにご負担いただいている一般家庭ごみ収集手数料は 1 億 385 万円を見込んでいます。

#### 【依存財源】

依存財源は、前年度と比較して 5.8% 増の 155 億 5,382 万円 (8 億 5,864 万円の増)、歳入全体の 55.8% と見込みました。この主な増の要因としては、南海本線連続立体交差事業、旭小学校増改築事業などの投資的経費の財源として発行する市債の増や、消費税増税後の税率による税収が平年度化されることに伴い、地方消費税交付金を 12 億 5,000 万円 (3 億 5,400 万円の増) と見込んだことによるものです。このうち、増税相当分の 5 億 1,500 万円は社会保障財源交付金として社会保障関連経費に充てられます。

なお、市債の発行予定額には、本年度増加する退職手当を賄う財源として退職手当債 3 億円が含まれています。

### ■ 市債と一般会計基金の残高 (平成 27 年 2 月現在)

市債残高	283 億 9,500 万円
一般会計基金残高	26 億 227 万円



## ■ 歳出の概要

地方自治体の歳出を分類する方法には、経済的性質に分類した「性質別経費」と、行政目的に分類した「目的別経費」があり、それぞれ以下のグラフのとおりとなっています。

地方自治体の経費を性質別にみると、「義務的経費」・「投資的経費」・「その他の経費」に分類することができます。「義務的経費」とは支出が義務付けられており、任意に節減することのできない経費（人件費・扶助費・公債費）で、「投資的経費」とは学校や道路などの建設・整備に要する経費です。そして、歳出全体から「義務的経費」及び「投資的経費」を除いた経費を「その他の経費」としています。

本市の性質別経費およびその構成比は、義務的経費 156 億 8,708 万円（構成比 56.2%）、投資的経費 21 億 1,973 万円（構成比 7.6%）、その他の経費 100 億 8,579 万円（構成比 36.2%）となっています。

### ■ 性質別内訳

#### 【義務的経費】

義務的経費は、前年度と比較して 1.7%減の 156 億 8,708 万円（2 億 6,800 万円の減）、歳出全体の 56.2%としました。扶助費については、生活保護費のほか、高齢者、児童、障がい者などに対する社会保障関係費として 1.8%増の 80 億 8,938 万円（1 億 4,333 万円の増）、人件費は 5.6%増の 44 億 5,258 万円（2 億 3,478 万円の増）と見込む一方、市債の償還に係る公債費については、17.0%減の 31 億 4,513 万円（6 億 4,611 万円の減）と見込み、主な減の要因となりました。なお、直近 5 年間の扶助費の推移については下のグラフをご参照ください。

#### 【投資的経費】

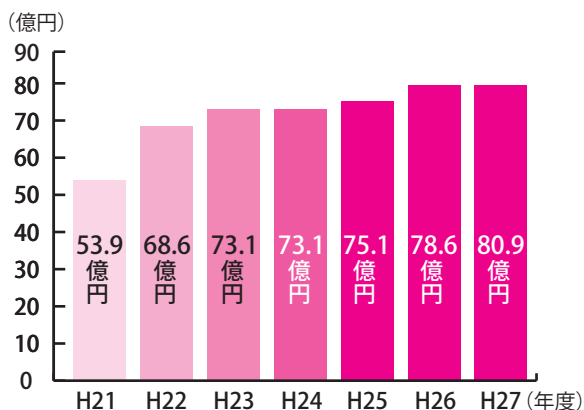
投資的経費は、前年度と比較して 75.7%増の 21 億 1,973 万円（9 億 1,360 万円の増）、歳出全体の 7.6%としました。この増となった主な要因は、南海本線連続立体交差事業費を 8 億 1,129 万円（3 億 6,512 万円の増）、助松市営住宅耐震改修事業費を 1 億 3,532 万円（1 億 3,532 万円の増）、旭小学校増改築事業費を 4 億 5,733 万円（3 億 6,951 万円の増）、中学校体育館非構造部材改修事業費を 1 億 5,795 万円（1 億 5,795 万円の増）と見込んだことによるものです。

#### 【その他の経費】

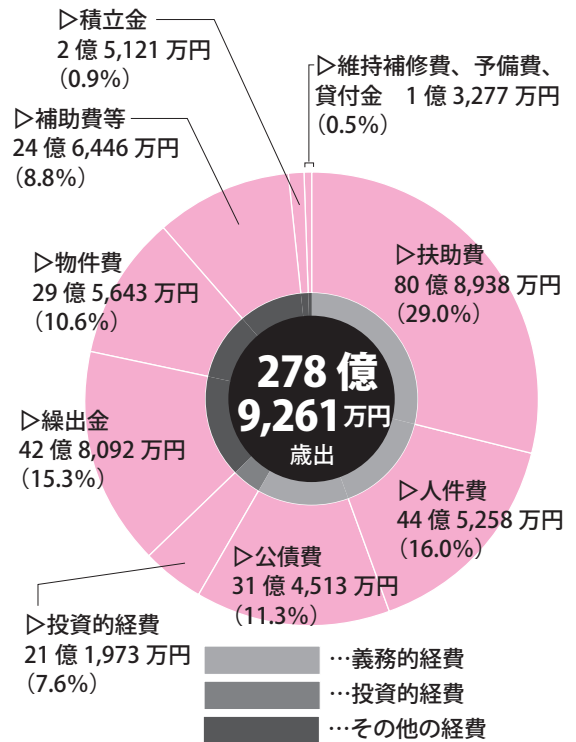
その他の経費は、前年度と比較して 1.0%減の 100 億 8,579 万円（1 億 361 万円の減）、歳出全体の 36.2%としました。この減となった主な要因は、臨時福祉給付金を 1 億 800 万円（1 億 9,386 万円の減）、下水道事業特別会計繰出金を 15 億 5,000 万円（1 億円の減）、子育て世帯臨時特例給付金を 3,600 万円（6,761 万円の減）と見込んだことによるものです。

### ■ 扶助費の推移

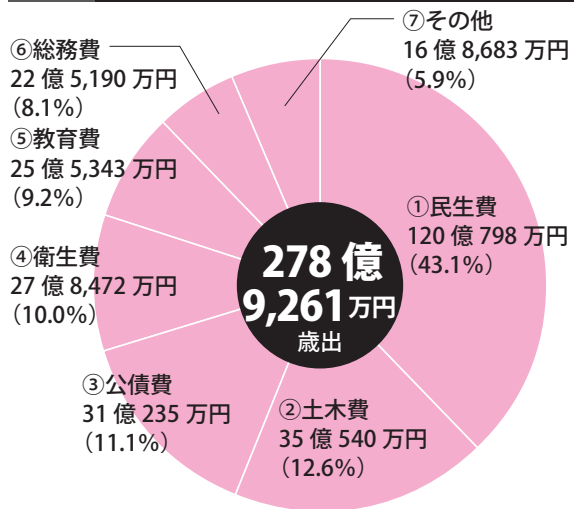
H21～25 は決算、H26 は決算見込み、H27 は当初予算



### 歳出 使いみちの「性質」別内訳グラフ



### 歳出 使いみちの「目的」別内訳グラフ



### 歳出 市民一人あたりの予算

平成 27 年度の歳出予算額を、市民 1 人あたりに置き直すと…  
※平成 27 年 1 月 1 日現在住民登録人口 7 万 6,228 人で計算

#### ●市民一人あたりの予算…36 万 5,910 円

- ①民生費（高齢者や児童の福祉に）——— 15 万 7,527 円
- ②土木費（道路・河川・公園整備に）——— 4 万 5,986 円
- ③公債費（借入金の返済に）——— 4 万 698 円
- ④衛生費（ごみ処理や病気予防に）——— 3 万 6,531 円
- ⑤教育費（学校、公民館、生涯学習に）——— 3 万 3,497 円
- ⑥総務費（窓口業務や税金徴収に）——— 2 万 9,542 円
- ⑦その他（消防活動、防災、議会、商工、農林水産業に）——— 2 万 2,129 円

市民 1 人あたりの歳出総額

36 万 5,910 円

## 27 年度の本市一般会計当初予算を、家計簿におきかえてみると…？

# おづみんの家計簿

ここでは、泉大津市の平成 27 年度の予算を「おづみんの家計簿」に置き換えています。イメージがつきやすいように 5,000 分の 1 に縮小してみました。家計簿なので単純に比べられないところもあります。あくまでも参考としてご覧ください。



### 歳入 おづみんの「収入」

収入の内容	収入額
会社からの給料	221 万円 (▲2 万円)
パート・家賃収入	11 万円 (▲2 万円)
実家からの援助	261 万円 (+16 万円)
不動産収入	10 万円 (+2 万円)
銀行などからの借入金	50 万円 (+1 万円)
貯金の取崩し	5 万円 (▲3 万円)
前年度からの繰越	200 円 (±0)
1 年間の収入合計	558 万 200 円 (+12 万円)

※( ) 内は前年度比

### 歳出 おづみんの「支出」

支出の内容	支出額
食費	89 万円 (+5 万円)
光熱水費	59 万円 (+4 万円)
医療費・介護費用など	162 万円 (+3 万円)
ローンの返済	63 万円 (▲13 万円)
家・車の修理代など	2 万円 (±0)
会費・お祝い金など	50 万円 (▲3 万円)
子どもへの仕送り	86 万円 (▲1 万円)
家の増改築・車の購入代など	42 万円 (+18 万円)
友人へ貸したお金	200 (±0)
貯金	5 万円 (▲1 万円)
1 年間の支出合計	558 万 200 円 (+12 万円)

※( ) 内は前年度比

### おづみんのローンと貯金 (平成 27 年 2 月現在)

ローン	568 万円 (▲30 万円)
貯金 (現金)	52 万円 (+1 万円)

### おづみんの家計簿の円グラフ

